

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

対象 学科	科目名	担当教員	担当教員の主な 実務経験	授業内容
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 科 作 業 療 法 学 専 攻	介護予防方法論	大井 博司	作業療法士として病院勤務（1987～1998）	リハビリテーション専門職として、地域における住民主体の介護予防を支援するための知識と技術を習得する。医療機関での作業療法士としての勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開する。
	神経系機能能力 評価学実習	大井 博司	作業療法士として病院勤務（1987～1998）	神経系疾患に対する作業療法評価を計画・実施・報告する方法を教授する。医療機関での作業療法士としての勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開する。
	リハビリテーション運動学	大井 博司	作業療法士として病院勤務（1987～1998）	作業療法において、運動学は最も重要な専門基礎科目である。本授業は全ての医療職にとって必要な基礎科目である解剖学、生理学を基盤として、身体の運動を理解し、身体の構造、機能、そして運動に興味を持つことを目的とする。医療機関での作業療法士としての勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開する。
	リハビリテーション心理学	大井 博司	作業療法士として病院勤務（1987～1998）	心の働きや心の仕組みに関する種々の研究成果を概観しながら、心理学の知見が如何にリハビリテーション分野に応用可能かを検討する。医療機関での作業療法士としての勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開する。
	加齢医学	三森 康世	医師として病院勤務（1976～現在に至る）	高齢者の疾患や障害を理解する基本になる、老化の機序、加齢に伴う生理的・病的变化、高齢者疾患の特徴、高齢者の種々の評価について学修する。その上で高齢者によく見られる疾患、症候について学び、それらに対する対応法を習得する。高齢者を取り巻く社会的環境や終末期ケアについても学修する。授業内容のすべてに医師（専門医）として関わってきたことを活かして実践的な授業を展開する。

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科作業療法学専攻	作業療法特別講義	大井 博司	作業療法士として病院勤務（1987～1998）	作業療法の実践において、対象者とのコミュニケーションは重要な要素である。そのため対人援助職種としての常識的なスキルだけでなく、深い人間理解に向けた心のあり方や、人間関係をコントロールするための自己管理能力が重要となる。本講義では、各教員が持つ臨床経験の中で体験した、対象者と、あるいは対象者家族や他職種との人間関係やコミュニケーション、関わりを振り返る中で、臨床現場で重要な臨床現場でのコミュニケーション要件や必要なスキルについて講述する。医療機関での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開する。
	老年期作業療法学	大井 博司	作業療法士として病院勤務（1987～1998）	老年期にある対象者に作業療法を行う上で必要な基礎知識と、臨床実践で必要となる考え方や具体的介入方法を示しながら、老年期作業療法の理念と目的、そしてその役割を理解させる。医療機関での作業療法士としての勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開する。
	老年期作業療法学演習	大井 博司	作業療法士として病院勤務（1987～1998）	老年期にある対象者に作業療法を行う上での臨床推論の方法と、様々な状況で必要とされる基本的技術を修得させる。医療機関での作業療法士としての勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開する。
	リハビリテーション脳神経学Ⅰ	三森 康世	医師として病院勤務（1976～現在に至る）	作業療法の対象として重要な神経系の障害に起因する疾患について、その原因、病態、臨床像、治療法を理解し、基礎知識を修得する。さらにリハビリテーションとの関連性についても学ぶ。授業内容のすべてに医師（専門医）として関わってきたことを活かして実践的な授業を展開する。

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科作業療法学専攻	リハビリテーション脳神経学Ⅱ	三森 康世	医師として病院勤務 (1976～現在に至る)	作業療法の対象となる神経系の障害に起因する疾患について、その原因、病態、臨床像、治療法を理解し、基礎知識を修得する。リハビリテーションとの関連性についても学ぶ。高次脳機能障害についてその原因、病態、臨床像、対応の仕方について修得する。授業内容のすべてに医師(専門医)として関わってきたことを活かして実践的な授業を展開する。
	リハビリテーション内科学Ⅰ	三森 康世	医師として病院勤務 (1976～現在に至る)	内科学の基本となる症候学、診断学、治療学について学び、内科学の思考過程を理解するとともに、リハビリテーション学との関連性について修得する。さらに、内科系の重要な疾患について学び、理学療法の実践やリスク管理に必要な知識を修得する。授業内容のすべてに医師(専門医)として関わってきたことを活かして実践的な授業を展開する。
	リハビリテーション内科学Ⅱ	三森 康世	医師として病院勤務 (1976～現在に至る)	内科学の基本となる症候学、診断学、治療学について学び、内科学の思考過程を理解すると共に、リハビリテーション学との関連性について修得する。さらに、内科系の重要な疾患について学び、理学療法の実践やリスク管理に必要な知識を修得する。授業内容のすべてに医師(専門医)として関わってきたことを活かして実践的な授業を展開する。
	リハビリテーション整形外科Ⅰ	長谷 好記	整形外科専門医 リハビリテーション科専門医	整形外科疾患の病態、診断学、治療法について学び、理学療法士・作業療法士として要求される基礎的な知識の習得を目指す。 <u>整形外科およびリハビリテーション科専門医の臨床経験を生かし、臨床で働き始めてからも役に立つ授業を行う予定である</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科作業療法学専攻	リハビリテーション整形外科Ⅱ	長谷 好記	整形外科専門医 リハビリテーション科専門医	整形外科疾患の病態、診断学、治療法について学び、理学療法士・作業療法士として要求される基礎的な知識の習得を目指す。 <u>整形外科およびリハビリテーション科専門医の臨床経験を生かし、臨床で働き始めてからも役に立つ授業を行う予定である</u>
	作業療法概論	山路 博文	作業療法士として病院、精神科デイケアに勤務（1989～2004）	作業療法の歴史、活躍している分野、作業療法の意義等を包括的にわかりやすく学習する。臨床での勤務経験を活かし、より実践的な講義を展開する。
	精神・認知機能能力評価学	山路 博文	作業療法士として病院、精神科デイケアに勤務（1989～2004）	精神・認知機能の評価法について、認知機能、高次脳機能の測定法を軸としながら正しい評価技術を習得する。臨床での勤務経験を活かし、より実践的な講義を展開する。
	リハビリテーション精神医学	山路 博文	作業療法士として病院、精神科デイケアに勤務（1989～2004）	精神医学の基礎（疾患、治療、薬）について知識を深める。臨床での勤務経験を活かし、より患者に沿った内容で講義を展開する。
	作業療法研究法	山路 博文	作業療法士として病院、精神科デイケアに勤務（1989～2004）	エビデンスベースの作業療法が求められている中、エビデンスとは何かを深く考察し、エビデンスの核となる研究法を習得する。臨床での勤務経験を活かし、より実践的な講義を展開する。
	精神障害作業療法学	山路 博文	作業療法士として病院、精神科デイケアに勤務（1989～2004）	精神障害を抱える人への作業療法の基礎について、評価、立案、治療までの一貫したアプローチ法について学習する。臨床での勤務経験を活かし、より実践的な講義を展開する
	精神障害作業療法学演習	山路 博文	作業療法士として病院、精神科デイケアに勤務（1989～2004）	精神障害を抱える人への作業療法の実践について、プログラム計画、立案等グループアプローチを軸とした実践的な演習を行い技術を習得する。臨床での勤務経験を活かし、より実践的な演習を展開する

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科 作業療法学専攻	人間発達学	小澤恭子	小児専門施設・小児 専門病院勤務(1997 ～2008) 病 院 常 勤 勤 務 (2008～2012) 特別支援学校特別非 常 勤 講 師 (2007～2013) 広島市教育委員会専 門委員(2012～)	・人間の胎生期から死に至るまでの生涯の、 運動・操作・認知・情緒・ADLなどの諸活 動の発達を学修する。 ・病院等の勤務により0歳から106歳まで の全年齢層の患者を多数担当し、1000人以 上にのぼるこどもの発達に作業療法士とし て介入した経験を活かし、症例を用いなが ら実践的な授業を展開している。
	発達障害学	小澤恭子	小児専門施設・小児 専門病院勤務(1997 ～2008) 病 院 常 勤 勤 務 (2008～2012) 特別支援学校特別非 常 勤 講 師 (2007～2013) 広島市教育委員会専 門委員(2012～)	・発達期に生じる障害についてその特徴や 成人との違い、リハビリテーションについ て学修する。 ・高度医療を4つ持つ日本有数の小児専門 病院から、療育施設、学校などに勤務した 幅広い経験を活かし、どのような障害に対 しても症例を用いながらより実践的な授業 を展開している。
	発達障害作業療 法学	小澤恭子	小児専門施設・小児 専門病院勤務(1997 ～2008) 病 院 常 勤 勤 務 (2008～2012) 特別支援学校特別非 常 勤 講 師 (2007～2013) 広島市教育委員会専 門委員(2012～)	・発達期の障害があるこどもと大人に対す る作業療法における、評価と推論、プログ ラム立案や治療の実践方法について学修す る。 ・高度医療を4つ持つ日本有数の小児専門 病院（センター）から、療育施設、学校な どに勤務した幅広い経験を活かし、どのよ うな障害に対しても症例を用いながらより 実践的な授業を展開している。

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科 作業療法学専攻	発達障害作業療 法学演習	小澤恭子	小児専門施設・小児 専門病院勤務(1997 ～2008) 病 院 常 勤 勤 務 (2008～2012) 特別支援学校特別非 常 勤 講 師 (2007～2013) 広島市教育委員会専 門委員(2012～)	<ul style="list-style-type: none"> ・発達期の障害があることと大人に対する作業療法における、評価と推論、プログラム立案や治療の実践方法について実習を行う。 ・高度医療を4つ持つ日本有数の小児専門病院（センター）から、療育施設、学校などに勤務した幅広い経験を活かし、自験例をベースとした架空の症例を用いて学生が疑似的に評価や実践を経験したり、デモンストレーションをするなどより実践的な授業を展開している。
	神経系機能能力 評価学	小澤恭子	小児専門施設・小児 専門病院勤務(1997 ～2008) 病 院 常 勤 勤 務 (2008～2012) 特別支援学校特別非 常 勤 講 師 (2007～2013) 広島市教育委員会専 門委員(2012～)	<ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経および末梢神経の機能を評価する方法を、その目的や解釈も含めて学修する。 ・高度医療を4つ持つ日本有数の小児専門病院や、脳卒中や脊髄損傷などのある成人、高齢者を主とした病院での勤務経験を活かし、自験例をベースとした架空の症例を用いて学生が疑似体験をしたり、デモンストレーションをするなど実践的な授業を展開している。
	リハビリテーシ ョン運動学実習	小澤恭子	小児専門施設・小児 専門病院勤務(1997 ～2008) 病 院 常 勤 勤 務 (2008～2012) 特別支援学校特別非 常 勤 講 師 (2007～2013) 広島市教育委員会専 門委員(2012～)	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとの動きの分析と、介助や誘導、リハビリテーションにて効果的な動きを考え出すために必要な、運動学的知識、力学的知識を実習によって再確認し、理解を深める。 ・病院や学校における勤務にて多くのことも・人の動作を分析し、運動発達や回復に努めた経験を活かし、より実践的な授業を展開している。

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科作業療法学専攻	作業療法評価学 総論	小澤恭子	小児専門施設・小児 専門病院勤務(1997 ～2008) 病 院 常 勤 勤 務 (2008～2012) 特別支援学校特別非 常 勤 講 師 (2007～2013) 広島市教育委員会専 門委員(2012～)	・作業療法を実施するために必要不可欠である評価方法と推論、プログラム立案の流れおよびその具体的方法を学修する。 ・病院や学校といった幅広い領域で様々な対象に作業療法評価を 20 年行ってきた経験を活かし、症例の提示やデモンストレーションにより、より実践的な授業を展開している。
	日常生活活動学	舟木 優佳	作業療法士として、 回復期リハビリテー ション病院、高齢者 施設に勤務 (2001～ 2011 年)	作業療法士がかかわる具体的な症例を想定し、日常生活活動の評価とその支援法について、具体的技術の学修を行う。 <u>病院、施設での臨床経験を活かし、より臨床に近い症例を想定し、演習を含めて展開している。</u>
	脳血管障害作業 療法学	舟木 優佳	作業療法士として、 回復期リハビリテー ション病院、高齢者 施設に勤務 (2001～ 2011 年)	脳血管障害を患った症例の作業療法の評価とその治療法についての学修を行う。 <u>病院、施設での臨床経験を活かし、具体的事例を提示し、その治療法を検討するなど、後期の臨床実習につながる内容を意識して授業を行っている。</u>
	脳血管障害作業 療法学演習	舟木 優佳	作業療法士として、 回復期リハビリテー ション病院、高齢者 施設に勤務 (2001～ 2011 年)	脳血管障害を患った症例について、グループで具体的な症例を設定し、そのケースの評価・治療について演習する。 <u>病院、施設での臨床経験を活かし、より臨床的、実践的内容で、臨床実習との連携を念頭に演習実施している。</u>
	福祉機器住環境 コーディネータ 論	叢麗	作業療法士 2009 年～2016 年	作業療法士の観点で利用者患者に適切な福祉機器の選び方適合の仕方について学修する。住み慣れた自宅を病状機能に合わせて住環境改修する際利用者の希望、症状に適した住宅の改修案を提供することを学修する。 <u>老人保健施設での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科 作業療法学専攻	運動器障害作業療法学	叢麗	作業療法士 2009年～2016年	手の骨折靭帯損傷、関節リウマチ、人工股関節術後などの作業療法治療法について、評価方法、治療アプローチについて学修する。 <u>老人保健施設での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	運動器作業療法学演習	叢麗	作業療法士 2009年～2016年	演習を通して、臨床でよく見られる疾患の評価方法の実施、治療アプローチ方法を学修する。 <u>老人保健施設での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	内部障害作業療法学	叢麗	作業療法士 2009年～2016年	心臓呼吸糖尿病などの疾患について作業療法の評価、治療について学修する。 <u>老人保健施設での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	リハビリテーション運動学実習	叢麗(副)	作業療法士 2009年～2016年	実習を通して、運動器障害の作業療法を実施するための基礎知識を学修する。 <u>老人保健施設での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	作業学実習	叢麗 國貞 将志	作業療法士 2009年～2016年	臨床で必要とされている作業活動を実施し、作業分析を通して作業活動の特性を学修する。対象者に適切な作業を提供できるための実習である。 <u>老人保健施設での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	作業療法特別講義	叢麗	作業療法士 2009年～2016年	臨床と研究の面白さを様々な観点を修得する。 <u>老人保健施設での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	運動系機能能力評価学	平澤 玲	病院および訪問、通所施設に作業療法士として勤務(2003～2013)	適切な運動機能評価に基づいた作業分析を可能にするために、上肢・体幹・下肢について実践的な運動系評価法を学修する。運動系機能評価の理論を理解し、適切な手技修得につなげる。 <u>臨床での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科作業療法学専攻	運動系機能能力 評価学実習	平澤 玲	病院および訪問、通 所施設に作業療法士 として勤務（2003～ 2013）	適切な身体機能評価に基づいた作業分析を 可能にするために、上肢・体幹・下肢につ いて実践的な運動系評価法を修得する。ま た、学生同士で役割を交代しながら自律的 に学習を進めることで、対象者に対しての 適切な評価導入・身体接触の方法を学ぶ。 <u>臨床での勤務経験を活かし、より実践的な 授業を展開している。</u>
	日常生活活動学 実習	平澤 玲	病院および訪問、通 所施設に作業療法士 として勤務（2003～ 2013）	作業療法対象者の日常生活動作について、 作業療法評価に基づき分析し、適切な動作 指導や介助方法を選択・実施できる技術を 習得することを目的とする。学生同士で役 割を交代しながら自律的に学修を進め、対 象者に対する適切な援助方法を学ぶ。 <u>臨床 での勤務経験を活かし、より実践的な授業 を展開している。</u>
	作業学	國貞将志	精神科病院で作業療 法士として勤務 （1997～2000、2002 ～2004） 介護老人保健施設で 作業療法士として勤 務（2001） 就労移行支援事業 所・就労継続支援 B 型事業所で作業療法 士として非常勤で勤 務（2005～2012） 地域活動支援センタ ーで作業療法士とし て非常勤で勤務 （2013～現在）	作業療法とは「作業」を通してクライエン トの健康を促進するものである。本講義で は作業療法における「作業」について理解 し、自身も作業的存在であることを知る。 <u>また様々な領域での実務経験を生かして、 実際の臨床における作業の治療的な応用 について、より実践的な授業を展開する。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科 作業療法学専攻	作業学実習	國貞将志	<p>精神科病院で作業療法士として勤務（1997～2000、2002～2004）</p> <p>介護老人保健施設で作業療法士として勤務（2001）</p> <p>就労移行支援事業所・就労継続支援 B 型事業所で作業療法士として非常勤で勤務（2005～2012）</p> <p>地域活動支援センターで作業療法士として非常勤で勤務（2013～現在）</p>	<p>作業療法で用いることの多い作業活動を体験することで、作業学の内容と連携させながら各作業活動の特徴について把握する。<u>また様々な領域での実務経験を生かして、実際の臨床における作業の治療的な応用について、より実践的な授業を展開する。</u></p>
	作業療法理論	國貞将志	<p>精神科病院で作業療法士として勤務（1997～2000、2002～2004）</p> <p>介護老人保健施設で作業療法士として勤務（2001）</p> <p>就労移行支援事業所・就労継続支援 B 型事業所で作業療法士として非常勤で勤務（2005～2012）</p> <p>地域活動支援センターで作業療法士として非常勤で勤務（2013～現在）</p>	<p>本講義では作業療法に関連する様々な理論について学習し、根拠に基づいた作業療法の介入の重要性について理解することを目指す。<u>また様々な領域での実務経験を生かして、実際の臨床における理論に基づいた作業療法の介入について、より実践的な授業を展開する。</u></p>

実務経験のある教員等による授業科目一覧 (リハビリテーション学科作業療法学専攻)

リハビリテーション学科 作業療法学専攻	作業療法治療学 総論	國貞将志	精神科病院で作業療法士として勤務（1997～2000、2002～2004） 介護老人保健施設で作業療法士として勤務（2001）	作業療法は、対象者の不健康という事象の作業機能障害という問題を解決する方法である。本講義では作業機能障害について学び、そして各障害領域における作業機能障害の特徴とその介入方法について学ぶ。 <u>また精神科病院・介護老人保健施設での作業療法士としての勤務経験を活かして、一部の講義において、より実践的な授業を展開する。</u>
	就労支援技術学	國貞将志	就労移行支援事業所・就労継続支援 B 型事業所で作業療法士として非常勤で勤務（2005～2012）	<u>「人が働くこと」の意義および障害者の就労について考える。また障害者の就労支援に関する制度や事業について学び、その中で作業療法の果たす役割と技術について学ぶ。また就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所での作業療法士としての勤務経験を活かして、より実践的な授業を展開する。</u>
	地域作業療法学	國貞将志	地域活動支援センターで作業療法士として非常勤で勤務（2013～現在）	地域で生活する障害のある人の健康な地域生活を支える作業療法士に必要な知識と考え方を学修する。 <u>また地域活動支援センターでの作業療法士としての勤務経験を活かして、より実践的な授業を展開する。</u>